



クラブ
主題

～ 伝えよう感謝 喜び そして 悲しみも ～

会長 五十嵐 由紀

会長/五十嵐由紀
副会長/八木悠祐・左近宏崇
書記/田中雅博・金原弘明
会計/山口雅也・藤野 篤

- 国際主題: I P Jacob Kristensen (デンマーク) "VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP" 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
- アジア太平洋主題: A P David Lua (シンガポール) "Make A Difference" 「変化をもたらそう」
- 西日本区主題: R D 古田 裕和 (京都トゥービー) 「Let's do it now」～2022に向け誇りを持ってAll is well～
- 京都部主題: D G 中村 隆司 (京都ウエル) 「人生は一度きり」～出会いから全てが始まる～
- メネット主題: RSD 吉本 典子 (熊本ジェーンズ) 勇気を持ってやさしさを！ 小さな事でも世界は変えられます。



よろしくお願ひいたします

メネット会長 八木 未穂

今期メネット会長を務めさせていただく八木未穂です。今回で二度目の会長となります。前は、長女が3歳、次女が1歳で、次女を背中に負ぶって、先輩方に教えてもらいながら、そしてたくさん助けてもらいながら、ワークや例会に参加させて頂きました。今では、長女12歳、次女10歳、そして三女が7歳です。大きくなった娘たちと共に活動に参加していきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メネット懇親会がまだ開催できなかつたり、リトセン夏季準備ワークが中止の為カレー作り等の活動がなくなりました。そんななか、初めてサバエの開設ワークに次女と三女と参加させて頂きました。草刈り機で草を刈り、レーキで集め、台車に乗せて焼き場へ運ぶ。この単純作業のなんと大変なこと(笑)！毎年この作業をされているメンの方々には頭が下がります。娘たちは手伝うどころか、カエルやバッタ、コオロギにテントウムシ。昆虫採集に必死でした(笑)。一度だけですが、三女も一輪車を押して草木を焼き場まで運んでいました。普段できない初めての経験にとても

喜んでいました。また、合間の休憩には、広々とした原っぱで、バトミントンや野球、なわとびなどして、久しぶりに体を動かしました。案の定、次の日には筋肉痛になりましたが(笑)。

緊急事態宣言が解除されたとはいえ、生活もままならず、思うような活動も出来ていません。それに加え、また、いつ活動自粛等の事態になるかも分かりません。しかし、活動再開後をたのしく過ごせるように、また、メンを支え、メネットの皆さんが気軽に参加出来るようにしていきたいと思っています。

また、新しいメンバーさんも増えていると聞いていますので、まだ参加されていないメネットの方々にもメンの方々から参加いただけるようお声掛けいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

至らぬ所が多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻をいただけるとう幸いです。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

今月の聖句



あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、皆の僕になりなさい。人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。

新約聖書 マタイによる福音書 20章 26節～28節

解説 「人の子が、……多くの人の身代金として」とあります。身代金と言う言葉が使われていますが、この身代金と言うのはキリストの十字架での死を意味しています。人の「罪」(法律上の罪ではなく神に対しての罪)の身代金としてキリストが十字架で身代わりに死ぬことで神が人の「罪」を一時的に許すことにしたことを指し示します。身代わりの死とは犠牲のことです。それまで、ユダヤでは自分の犯した「罪」に対し、自分の代わりに羊や山羊、子牛などを犠牲として神に献げていました。この犠牲という考え方は、日本人には少しなじみにくい考え方もかもしれません。しかし、実は日本にも罪や穢れの身代わりの風習がありました。全国各地で女の子の祭りとして行われている流し雛は、元々は自分の罪や穢れを人型に切った紙に移して川に流すという身代わりの犠牲と同じ意味をもつ行事でした。

西日本区
強調月間

9月 Menettes

メネットの優しさ、思いやりをワイズ活動に活かしましょう。
皆さまの勇気でクラブが、社会が、変わります。そして世界も！
吉本典子 メネット事業主任 (熊本ジェーンズクラブ)

年間強調
目標PR

ワイズメンズクラブ内外の人達にもっと広報して、EMC やクラブの活性化に繋げましょう。
大槻信二 広報・情報委員長 (京都センチュリークラブ)



強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

納涼懇親会

2020年8月1日(土) 19:00~21:00
東華菜館

副会長 八木 悠 祐

8月1日(土)、キャピタルクラブ納涼懇親会が開催されました。今年ではコロナウイルスの感染拡大防止の観点から、例会扱いでの開催ではなく、参加希望者を募り納涼懇親会としての開催となりました。

東華菜館のテラス席から、鴨川の涼しい風に吹かれながら暮れゆく東山を望むと心が洗われるような感覚になります。五十嵐会長の挨拶、亀井次期会長の乾杯の発声で、ビールを一気に流し込むとその後は、いつもと同じキャピタルクラブらしい笑顔がはじける酒宴となりました。ファンド委員会さんのご協力で、キングオブ飲み会ゲームの『BINGO』も開催され大変盛り上がりしました。19名の参加ということで人数は少しさみしかったです。クラブメンバーが集まり懇親を深め、仕事の状況やプライベートなことも面白おかしく語らえる会を開催していただいたことに感謝いたします。

クラブメンバーが顔と顔を合わせてコミュニケーションをすることの大切さを気づかせてくれた良い会となりました。



わんぱくチャレンジクラブ

書記 金原 弘 明

8月22日(土)、例年12月に開催されていたわんぱくチャレンジクラブが今年も真夏の真ただ中に行われました。今年も夏のお祭り「わんぱく夏祭り」という企画で、子供たちに夏祭りを楽しんでいただくと共に、子供たちも屋台の仕事を行うことで達成感や仕事をする上での「社会におけるマナー」や「コミュニケーション」を身につけることを目的とするリトリートセンターでのプログラムでした。私たちキャピタルクラブは、たこ焼きとかき氷の屋台を担当、子供たちに美味しいたこ焼きと、みんな大好きなかき氷を提供するために総勢15名で参加しました。

コロナ禍の中でのプログラムということもあり、今年は3名の子供たちのみの参加でしたが、リーダー達は全力で準備を行い、当日も7名全員で力を合わせ一生懸命に運営している姿に心を打たれました。子供たちの家族が参加する夕方6時前から激しい雷雨に見舞われるハプニングもありましたが、リーダー達の機転と実行力で、会場を屋外から食堂に移し、キャンプファイヤーも、部屋の電気を消しリーダー全員のスマホを中央に集め、そのライトを薪の火に見立てて行うことで、無事最後まで楽しく行われました。

8月第二例会

2020年8月18日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都

YMCA サービス・ユース委員 石村 吉 宏

本日の例会は、コロナウイルスの流行もありZOOMでの参加が認められ、倉見さんがZOOM参加になりました。

食事の後、本日のゲストスピーカー「NPO法人 アイケアキッズ京都」代表理事藤井蒔様をご紹介頂いた、大山悠子メネットより、藤井様と知り合った経緯とプロフィールのご紹介がありました。

藤井様は第二子を妊娠されて検査を受けたところ、重い障害があって生まれてこれないだろうと医師から伝えられたそうです。それでも次男は生まれてきましたが、やはり大きな障害(18トリソミー)があり、酸素吸入と胃ろうを受けて生きていく事になりました。小さな身体にチューブの入っている写真を見ると心が締め付けられます。気管切開を受けて、自宅生活が出来ようになって、色々な所にも出かけられたそうです。しかし、体調を壊され、入院して余命の少ないことを告げられた時、自宅で自身のお母さまを看取られた時の悲しみと充実した時間を思い、自宅に連れて帰って最後の9日間を家族とサポートチームの皆様に見守られて3年という短い人生を終え天に召されたと話されました。

自身の体験から、今年の4月に医療ケア児を受け入れられ、医療ケア児と保護者に寄り添った教育理念「いのちの時間を分かち合い、ともに歩む」とした小規模保育園キコレを開園されました。



新型コロナの影響により様々な状況が変わってしまっている中で、最後に子供たちが見せる「楽しかった！」と言う笑顔や、今年も見ることができたことは例年以上に感慨深いものがありました。一日も早く子供たち全員が安心して参加できるようになる日が来ることを全員が強く願いながら帰途につきました。



参加者:五十嵐、石倉・メネット、金原、亀井、香山・メネット、黒木、左近、志田、田中(升)、椿森、西川、幡南、山田

with コロナ ～今後の決意を一文字で～

「護」

田中雅博

with コロナと向き合う日々ですが、先行きが不透明なため成り行きに任せているところがあります。そのため今回のテーマに関しては、思い当たる文字が無かったので、辞典を引きつつ少し考えてみました。そこで思い当たったのが「護」の一文字です。

この文字にはもちろん「まもる」との意味がありますが、それ以外にも「たすける」や「かばう」との意味があります。あらゆる努力をもってしてコロナに打ち勝ち、家族・会社・従業員とその家族を守ることをまず第一としなければなりません。そしてそれに加えてウィズをはじめとする今までの生活のすべてを守るため、あらゆる状況の中で助け合い、庇い合って、何としてもコロナに打ち勝たなければなりません。そのような思いを持って、今の状況に立ち向かっています。護り勝つことによって、その先には新たな未来が開けてくるものと信じています。

「常」

田中升啓

私の決意の一文字は「常」とさせてもらいました。このような状況になって、まさに生活様式が変化しているのですが、気持ちは変わらず普段通りで進んでいきたいという意味を込めました。この新型コロナウイルスの蔓延によって、人との接触機会を減らさなければいけなくなり、集まる機会も減り、人との繋がりを築いていくのが難しい状況になったと感じています。しかしそんな中だからこそ、実際に顔を合わせることの大切さを改めて感じ、会える機会を大切に、今まで以上の気持ちで接していきたいと考えています。予防の意識は当然必要ですが、誰とも接せずに生きてはいけません。仕事もプライベートも、出来る対策はもちろん取りながらにはなるのですが、以前と変わらない距離感で、メンバーの皆さんとも引き続き活動を行いたいと思っています。いつかは必ず収束するはずなので、それまでは協力してがんばりましょう！

「繋」

西川欽一

「with コロナ～今後の決意を一文字で～」というお題をいただきましたが、まだ、コロナ禍の真っ只中でこれという決意を表すことはできません。

コロナ以前には当然だったことが今は当たり前ではなくなっています。例えば、メンバーとの挨拶で当然に交わされていた握手もしばらくできていないことに物足りなさを感じているのは私だけではないと思います。そして、食事中の会話にも気を使わなくてはならず、飲み会も行い難いことなど不自由なことでイッパイです。でも、これが当然にならないように、with コロナの時代にも「私たちは繋がっている」「良い習慣や文化を繋げていきたい」。この字には「きずな」という意味もあるようです。

そんな思いをこの「繋」の字に込めてみました。

コロナ流行の前と今は世界が変わってしまったわけではなく、当然に繋がっています。そしてこれからの未来も繋がっていきます。コロナの時代を迎えたからこそできる工夫をこらした新しい習慣や文化も生まれるかもしれません。新しく生まれた習慣や文化もうまく繋げていきたいと思っています。

「考」

宮崎順巳

今はコロナ禍の影響を受けて、人との繋がりが弱くなっているように思います。

友人を遊びに誘うにしても、もし自分達がコロナだったら、相手がコロナだったら、遊びに行った先にコロナの人がいたらと考えてしまいます。コロナが収束したら集まろうと話しをしてみても、収まる気配がなく、いつ集まれるかも分かりません。

今はまだ大人しくしていないといけない時期ですが、コロナを恐れずに生活ができるようになった時にはマスクを外して、どんどん外出していきたいと思っております。

キャピタルクラブもしばらく皆さんの顔を見ることのできない時期がありました。

そんな中でも何とかメンバー同士が繋がろうと考え、実践されて、例会が開けない時期を乗り越え、今では集まることができるようになりました。

例会でも ZOOM 参加ができるようになり、こんな時期でも、会場に来られなくても、繋がろうと思えば繋がれるということを知りました。何とかメンバー同士の交流をと考えることで思いつかれたのでしょうか。

後ろ向きに考えれば暗くなりますが、前向きに考えれば明るくなる。

前向きに考えていきたいと思っています。

「挑」

吉井崇人

今年に入り、世界中を混乱に陥れたコロナウイルス。まさかこんなに長引くとは正直な所思っておりませんでした。仕事の面からいくと、長目の休業を取っておりまして。不思議と焦る事は一度もありませんでした。

大きなチャンスが必ず来るっ！ それまでは静かに準備だ！ と言い聞かせておりました。現状、仕事は例年とは違う形ではありますが忙しく動き出しました。

そして、各講習・講義が集まらないという事から、動画配信するための動画撮影・編集等の依頼が増え、新たな慣れない業務にバタバタ・ドキドキ自分自身にはったりを掛け日々挑戦しております。

私個人の事では、家族と過ごす時間が増え楽しい時間を過ごし有意義な時間が取れました。確信はありませんが色々見えた様な気もしています。要るもの、要らないもの、やるべき事、やるべきではない事、これからの時間は、親として一大人として社会人としてどのように生きていくのかに挑んでみたいと思っております。

従って一文字は、「挑」です。

リトセン秋のワーク案内 (9月6日(日))

YMCA サービス・ユース委員 吉井崇人

リトセン秋のワークは、秋冬にリトセンを使用する子供達の為に行う施設の清掃活動になります。

私は、子どもたちの宿泊に同行しリトセンに伺い撮影をさせて頂いた経験も御座います。

中々、メンバーの皆さまが使用している所を目のあたりにす

る事は無いかと思いますが、大丈夫！ 私はこの目でしっかり見ました。

普段の生活とは違う環境の中で、彼らは沢山のものに触れ、感じそれぞれの感覚で持ち帰っております。

彼らの未来にこの経験がどの様に生きてくるのかと思うと、楽しみでしかありません。

コロナ禍の世の中でこの様な経験をさせてあげる事の出来る数少ない貴重な施設となってくると思います。

是非、皆様のご参加をよろしくお願い致します。皆様の尽力が直接伝わる事業になります。

YMCA NEWS

活動継続支援寄付金のお願い

京都 YMCA では、新しい生活様式を取り入れながら、地域で暮らす子どもから高齢の方、そして留学生、一人でもたくさんの人に、より良い学び・体験・つながりの場を提供すべく、活動に取り組んでいます。既に多くのワイズメンに個人や会社の名義、クラブ単位等でご協力いただいておりますが、まだという方は活動を継続していくための寄付金にみなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。

振込先

(京都銀行 本店) 普通口座 721365
 京都 YMCA (キョウトワイエムシーエー)
 (ゆうちょ銀行) 郵便振替 01030-6-733
 京都 YMCA (ザイ) キョウトワイエムシーエー

京都 YMCA 国際福祉専門学校 介護福祉学科 オープンキャンパスのお知らせ

日時 9月26日(土)午前10時~12時
 癒しの技術 ハンドケア
 場所 京都 YMCA
 申込 参加ご希望の方は、お電話にてお申し込みください。Tel: 075-255-3287

YMCA 三条保育園入園希望者説明会のお知らせ

日時 11月21日(土)午前10時~11時30分
 ※9月、10月の説明会は定員に達しましたので締め切りました。
 場所 京都 YMCA
 申込 参加ご希望の方は、お電話もしくはメールにてお申し込みください。
 Tel: 075-254-8131
 E-mail: hoikuen@kyotoymca.org



第2回 役員会議事録

2020年8月25日(火) 19:00~20:40
 ウェスティン都ホテル 平安の間 並びに WEB会議

〈会長主題〉『伝えよう感謝 喜び そして 悲しみも』
 〈西日本区・京都部報告〉 臨時代議員会/第2回京都部評議会
 9月13日(日)

〈YMCA 報告〉 リトセン秋の準備ワーク

〈三役会報告〉 次次期会長選考会/「岡本尚男さんを偲ぶ会(仮称)」/新型コロナウイルス対応について

〈事業委員会報告〉

- YMCA サービス・ユース事業委員会 わんぱくチャレンジクラブ報告/リトセン秋の準備ワークの内容説明/リトセンチャリティゴルフの開催日は次回京都部役員会で承認予定/Yサアワー例会の内容説明
- 地域奉仕・環境事業委員会 ふれあい広場は集まってるの行事は無し/メタセコイヤフェスティバルは11月開催で準備進行中
- ドライバー事業委員会 岡本尚男さん追悼例会の内容説明(森田恵三さんに追悼の言葉をいただく)〈クラブメンバー(4名)にも追悼の言葉をいただく〉/9月第二例会はテーブルマナー講座
- 交流事業委員会 京都の他クラブの例会にオンライン参加することを検討する/東京クラブへ来春頃の訪問を検討する/台北クラブにボランティア活動の協力を検討する/メンバー間交流を検討
- ファンド事業委員会 7月・8月ファンド実績報告/じゃがいもは10月17日(土)に決定、場所は京都パルスプラザ
- 広報・ブリテン事業委員会 9月号、10月号の骨子報告/HPリニューアルのスケジュール確認/フェイスブックの運用について説明
- EMC 事業委員会 EMC アワー例会の講師は奥村幸治氏に決定/8月例会にゲスト1名参加/パープルゴルフ会にゲスト2名参加/7月・8月の例会出席状況報告

〈審議事項〉 次次期会長を倉見直樹さんとする件〈承認〉〈9月第二例会で臨時総会開催〉

〈その他〉

第2回三役会 9月16日(水)

第2回役員会 9月29日(火) ウェスティン都ホテル京都

HAPPY BIRTHDAY

メン	菅原縦一	9月11日	加藤俊明	9月28日
メネット	山口弘子	9月16日	菅原由利子	9月20日
コメット	山田智也	9月12日	八木 築	9月19日

HAPPY ANNIVERSARY

亀井 久照・三千代 ご夫妻 9月15日
 吉井 崇人・香 月 ご夫妻 9月17日

8月報告



例会出席

在籍者数	29名	切手	0円
第一例会	中止	手累計	0円
第二例会	24名	現金累計	0円
メイクアップ	3名	E F	0円
出席率	93.1%	J W F	0円
		EF・JWF累計	0円



BFポイント

第一例会	13,000円
第二例会	10,000円
累計	56,000円



ニコニコ



ファンド

合同委員会ファンド	5,500円
ハイハイファンド	480円
大山ハム	21,384円
スイカ	8,700円
7月計	36,064円
累計	42,111円



献血

献血	0cc
成分	0名
累計	0cc



135周年募金

第一例会	0円
第二例会	3,070円
今期計	7,080円
累計	261,350円

ポジティブネット募金

第一例会	0円
第二例会	2,310円
累計	6,983円

YMCA活動継続寄付金

第一例会	0円
第二例会	3,242円
累計	8,887円

出席第一...時間厳守...親睦...奉仕...使用済切手収集